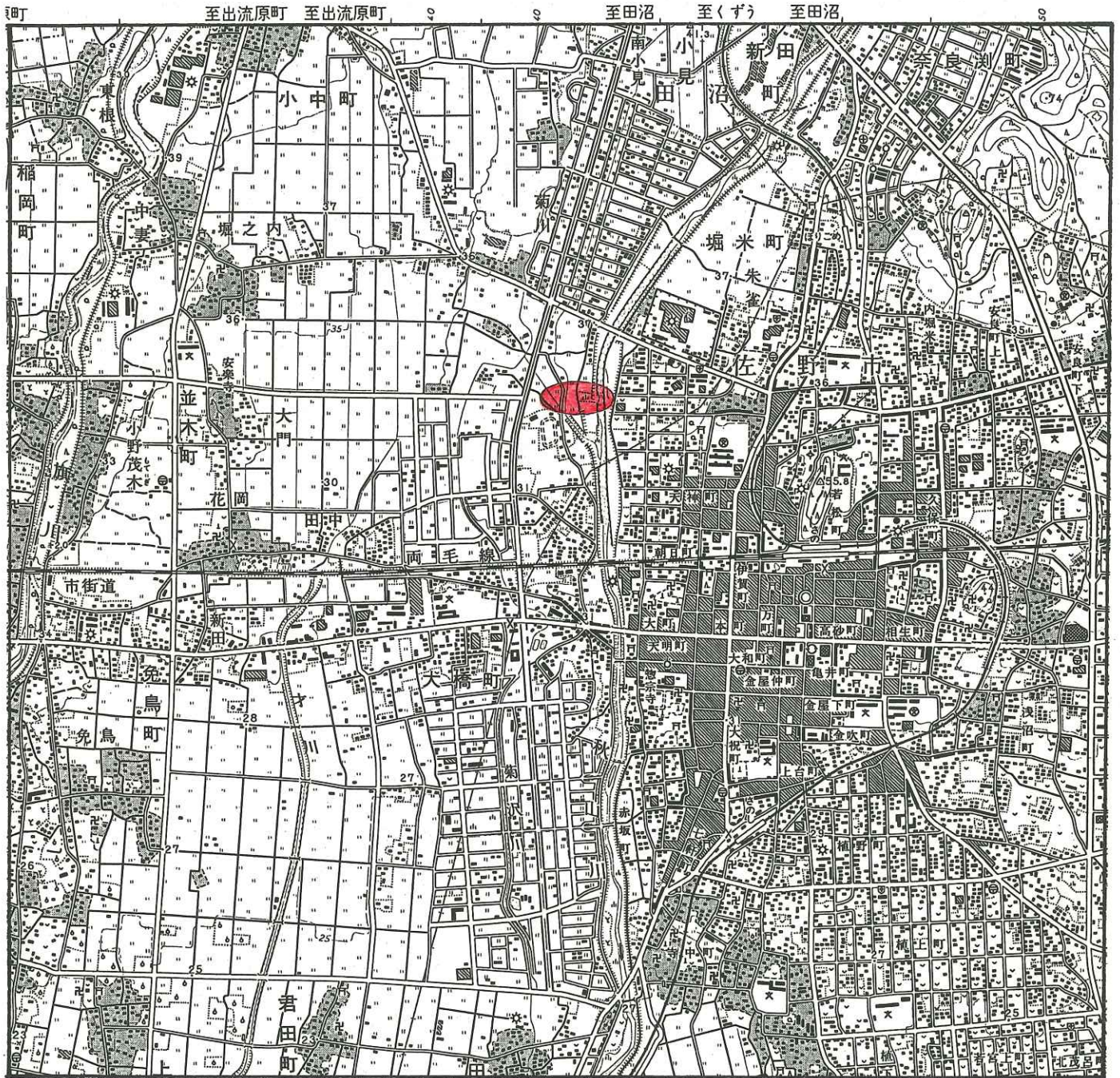


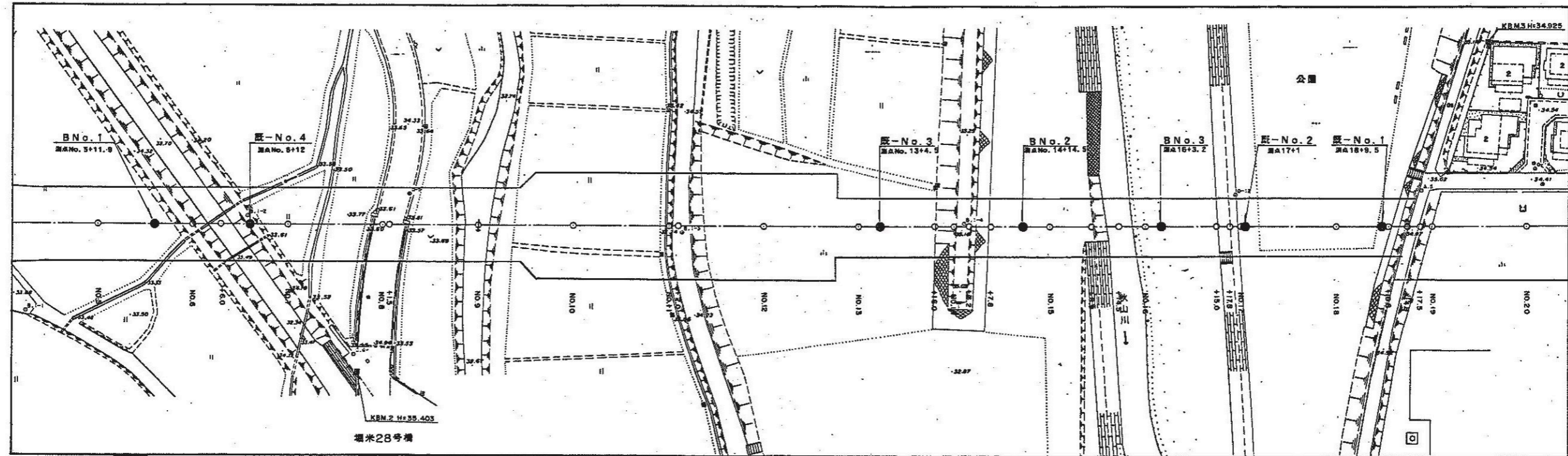
案内図

● : 調査地

S = 1 : 25000



調査位置図



ボーリング柱状図

調査名 都市計画道路3.4.2号線地質調査業務委託

ボーリングNo.

既存ボーリング **事業・工事名**

シートNo.

ボーリング名	NO.1 (NO.18+9.5)	調査位置	栃木県佐野市堀木町			北緯	36°19'9.7"
発注機関	佐野市役所		調査期間	昭和63年 9月 8日~63年 9月15日		東経	139°34'22.0"
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	33.17m	角		方		試錐機	KR-100
総掘進長	18.33m	度		度		エンジン	ハンマー落下用具

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	採取	室内試験	掘進月日	
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値					
	32.37	0.20	0.20	粘土層	黒褐			風化粘土質の粘土。	9/12	1.15	3	5	3	11			
1				砂礫		中位		含水量大。 φ2~40mm程度の角礫を主体とし、上部にはφ100mm程度の礫を点状とする。 礫の量多く80~90%の礫率を示す。 基質は中砂~細礫である。	9/12	1.45	9	6	5	20			
2										2.15	9	6	5	20			
3										2.45	5	7	7	19			
4										3.15	5	7	7	19			
5	28.17	4.80	5.00							3.45	4	4	4	12			
6										4.15	4	4	4	12			
7										4.45	11	14	14	39			
8										5.15	11	14	14	39			
9										5.45	11	15	19	45			
10										6.15	11	15	19	45			
11										6.45	10	10	10	30			
12										7.15	10	10	10	30			
13										7.45	9	10	12	31			
14										8.15	9	10	12	31			
15										8.45	14	13	12	39			
16										9.15	14	13	12	39			
17										9.45	10	12	14	36			
18										10.15	10	12	14	36			
19										10.45	17	16	13	46			
20										11.15	17	16	13	46			
21										11.45	15	13	14	42			
22										12.15	15	13	14	42			
23										12.45	14	17	19	50			
24										13.15	14	16	15	45			
25										13.44	14	16	15	45			
26										14.15	18	21	11	50			
27										14.45	18	15	17	50			
28										15.15	18	15	17	50			
29										15.41	18	15	17	50			
30										16.15	18	15	17	50			
31										16.43	18	18	14	50			
32										17.15	18	18	14	50			
33										17.43	25	25	8	50			
34	14.84	13.33	18.33							18.15	25	25	8	50			
35										18.33							

ボーリング柱状図

調査名 都市計画道路3.4.2号線地質調査業務委託

既存ボーリング 事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	NO.3 (NO.13+4.5)		調査位置	栃木県佐野市堀木町		北緯	36° 19' 9.7"		
発注機関	佐野市役所			調査期間	昭和63年 9月10日~63年 9月15日		東経	139° 34' 19.0"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	32.78m	角度	180°上 90° 180°下		方向	北 270°西 90°東 180°南		地盤公配	水平
総掘進長	17.42m	使用機種	KR-100		ハンマー	落下用具		ポンプ	
		エンジン							

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日		
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値						
32.48	0.30	0.30		表土 黒褐					9/21 1.40	1.15	4	5	5	14	30			
				砂礫	暗緑灰	中位		含水量大。 φ2~40mm程度の角礫を主体とする。 基質は中~粗砂。	1.45	1.75	7	7	7	21	30			
				砂礫	暗褐灰 茶褐	中位 密		含水量中~やや大で全体に粘性がありφ10~20mmの角礫が多い。 基質は中~粗砂。 6m付近より礫径φ2mm~φ30mm位の角礫が主体である。 礫の種類はチャート・頁岩が多い。	2.15	2.45	5	6	7	18	30			
27.78	4.70	5.00		砂礫	茶褐	密		含水量中~大。 φ2~30mmの角礫を主体とする 基質は細砂。 所々に礫混り粘土を薄く挟む。	3.15	3.45	9	9	7	25	30			
25.18	2.60	7.60		砂礫	茶褐	密		含水量大。粘性大。	4.15	4.45	9	10	15	34	30			
24.88	0.30	7.90		礫混り粘土					5.15	5.45	12	11	13	36	30			
				砂礫	茶褐	密		含水量大。粘性大。	6.15	6.45	15	12	12	39	30			
21.98	2.90	10.80		砂礫	黄褐 黄褐灰	密 非常に密		φ2~40mmの角礫を主体とする 基質は細砂、部分的に粘性土を挟在する。 含水量大。 13m付近より色調が黄褐灰に変わる。	7.45	7.75	9	11	10	30	30			
				砂礫				礫はチャート・頁岩が多い。 大きな礫はチャートが主体。	8.15	8.45	9	10	13	32	30			
				砂礫					9.15	9.45	12	18	16	46	30			
15.36	6.42	17.42		砂礫					10.15	10.45	12	18	16	46	30			
				砂礫					11.15	11.45	3	10	13	26	30			
				砂礫					12.15	12.40	13	21	16	50	25			
				砂礫					13.15	13.45	11	14	19	44	30			
				砂礫					14.15	14.44	19	15	16	50	29			
				砂礫					15.15	15.45	15	15	20	50	30			
				砂礫					16.15	16.43	14	18	18	50	28			
				砂礫					17.15	17.42	16	16	18	50	27			

ボーリング柱状図

調査名 都市計画道路3.4.2号線地質調査業務委託

ボーリングNo.

既存ボーリング 事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NO.4 (NO.6+12)	調査位置	栃木県佐野市堀木町			北緯	36°19'9.7"
発注機関	佐野市役所			調査期間	昭和63年12月8日~63年12月13日		
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	34.26m	角	180° 上 90° 下	方	北 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平
総掘進長	17.45m	度		向		使用機種	KR-100
						エンジン	
						ハンマー落下用具	ポンプ

標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験		採取		掘進月日	
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値	深 (m)	試験名および結果	深 (m)	採取方法		
33.56	0.70	0.70		X	盛土	黒褐			φ2~4mm位の礫を点在。粘性大。	1.15	3	6	6	15					
33.08	0.50	1.20		X	旧表土	茶褐			腐植土質ローム。礫点在。	1.45									
				○	砂	茶褐			含水量小φ2~40mm位の角礫主体とする。最大φ60~80mm程度の礫を点在する。含水量は少なく、3m付近はやや多い。	2.15	5	5	5	15					
				○	砂	茶褐			含水量は少なく、3m付近はやや多い。基質は中~粗砂。	2.45									
30.36	2.70	3.90		○	粘土混り砂	茶褐			含水量多くφ2~30mm程度の角礫を主体とする。GL-7.6m付近に層厚0.2~0.3m程度の粘性土を挟在する。GL-10m以深は含水中位。礫質は硬く、最大φ50~70mm程度、所々薄く粘性土を挟在する。	3.15	7	8	7	22					
				○	粘土混り砂	茶褐				3.45									
				○	粘土混り砂	茶褐				4.15	6	7	5	18					
				○	粘土混り砂	茶褐				4.45									
				○	粘土混り砂	茶褐				5.15	9	7	8	24					
				○	粘土混り砂	茶褐				5.45									
				○	粘土混り砂	茶褐				6.15	8	7	8	23					
				○	粘土混り砂	茶褐				6.45									
				○	粘土混り砂	茶褐				7.15	8	8	6	22					
				○	粘土混り砂	茶褐				7.45									
				○	粘土混り砂	茶褐				8.15	9	10	11	30					
				○	粘土混り砂	茶褐				8.45									
				○	粘土混り砂	茶褐				9.15	11	8	13	32					
				○	粘土混り砂	茶褐				9.45									
				○	粘土混り砂	茶褐				10.15	11	12	15	38					
				○	粘土混り砂	茶褐				10.45									
				○	粘土混り砂	茶褐				11.15	14	10	11	35					
				○	粘土混り砂	茶褐				11.45									
22.46	7.90	11.80		○	粘性土	茶褐			GL-11.8m~12.1m粘性土を挟む。	12.15	9	10	15	34					
22.16	0.30	12.10		○	粘性土	茶褐				12.45									
				○	軽石混り砂	茶褐			含水量程度でφ2~30mmの角礫を主体とする。粘土を挟在し、基質は中~粗砂。礫は硬質である。φ50~70mm程度。	13.15	9	9	14	32					
				○	軽石混り砂	茶褐				13.45									
				○	軽石混り砂	茶褐				14.15	13	12	9	34					
				○	軽石混り砂	茶褐				14.45									
				○	軽石混り砂	茶褐				15.15	16	21	13	50					
				○	軽石混り砂	茶褐				15.40									
				○	軽石混り砂	茶褐				16.15	17	17	16	50					
				○	軽石混り砂	茶褐				16.42									
17.36	4.80	16.90		○	砂質シルト	黄褐			含水量大。全層に微細砂を混入する。	17.15	4	6	10	20					
16.81	0.35	17.45		○	砂質シルト	茶褐			含水量中。φ2~30mm程度の角礫主体。	17.45									

12/9
12/10
12/12
12/13